

# 「下北沢駅舎・あとち利用を



## 市民といっしょに考える」



日時 2010年2月23日(火) 7:00pm～

会場 北沢タウンホール2階 第1集会室

街づくり先進自治体として全国に名を馳せてきた世田谷区。その創成期に世田谷の街づくりに深く関わってこられた林泰義さんにおいでいただきます。林さんは、まちづくりプランナーとして全国各地で住民主体のまちづくりの活動をサポートする仕事をされてきました。

専門家と市民が協働して活動をしてきた「あとちの会」のこれまでの活動も振り返りながら、下北沢の現状の課題である「小田急線上部利用」の提案や下北沢駅舎について、皆さんといっしょに考えましょう。ぜひ、会場におこしく下さい。



林泰義さん 千葉大学客員教授、1990年、在住の世田谷区玉川地区で近隣の専門家や住民たちとNPO「玉川まちづくりハウス」も設立。97年「NPOとまちづくりの一連の研究及び活動」で日本都市計画学会賞(石川賞)受賞。

新しい下北沢駅舎プランは東口だけしかなく、南口も北口もなくなり大変に不便です。西口も必要ですし、連続した避難通路もないと災害のときに心配です。



小田急線あとちを考える会

<http://atochi.net/>「あとちの会」

